



## 「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

## 第24回 高校体育祭開催 青組優勝！

TOP\*NEWS

サッカー部・柔道部男子団体・剣道部男女団体・  
男子バレーボール部・陸上競技部3種目 関東大会出場！



### みんなでつくった最高の一日

体育祭実行委員長 3年4組 眞榮平 奏海

今年度初めての全校行事で、どの競技でもみんなが精いっぱいに取り組み、輝いていました。全力で戦い、応援し合い、楽しんでいる姿を見て、この体育祭が一人ひとりの力で成り立っていると感じました。とても楽しい一日になり、最高の思い出ができました。この体育祭が皆さんにとっても、心に残る素敵な思い出になったら嬉しいです。みんなが一生懸命頑張ったからこそ、この素晴らしい一日になったのだと思います。関わってくださったすべての方々、本当にありがとうございました。

選手宣誓



高3



高2



高1



応援も盛り上がり(サッカー部)



### 結果

#### 優勝 青組

1年 5組／6組

2年 4組／8組

3年 3組／8組

#### 準優勝 緑組

1年 4組／7組

2年 3組／7組

3年 2組／9組

# 2025年度学校運営方針

5月号で紹介した「2025年度学校運営方針」の実践目標について、今月から数回に分けて紹介していきます。学校の基本方針や取り組み、行事の様子などHPで紹介していきますのでご覧ください。

## 実践目標

### 「現代文明論」「高校現代文明論」を中心とした教育に努める

“「現代文明論」「高校現代文明論」を中心とした教育”とは、どのようなものだろうかと思っていらっしゃる方もいると思いますので、少し説明させていただきます。

「現代文明論」は、創立者・松前重義が講義の中で、自らの考えを話し始めたのがきっかけで、それが独立した科目となったものです。松前重義は学生に向かって、「人生いかに生きるべきか」と問いかけ、正しいものの考え方を身に付け、自分の才能を善用し、社会に役立てることの大切さを説き続けました。

創立者の思いを引き継ぎ、学園に学ぶ生徒一人ひとりが自らに「人生いかに生きるべきか」と問いかけ、意義ある人生を送るため、多様なものの見方の中から、正しいものの見方・考え方を確立し、人道主義・人格主義に基づいた思想を培うことを目的として、「高校現代文明論」を1994(平成6)年4月から学園傘下のすべての付属高等学校において開始しました。その内容は、現行の学習指導要領の教育課程に設定されている「総合的な探究の時間」で扱われるものも網羅しており、創立者の考えの深さを感じさせられます。本校では、「高校現代文明論」を高校1年生の「総合的な探究の時間」として学んでいます。

本校では、以下を具体的目標として、「高校現代文明論」の授業を行っています。

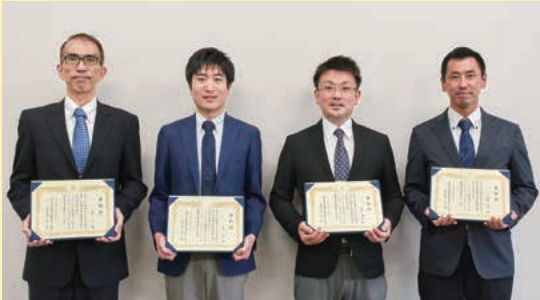
- 知識を自己のものにして、自ら考える力を養い、定着させるようにする
- 自ら学ぶ目標を定められるよう、主体的な学習の方法を育成する
- 体験学習を重んじ、得た知識や技術を吟味させることによって創造力を育ませる
- 討論や発表の場を通し、集団の中で自己表現力を伸ばす
- 現実を直視して、問題を発見し、自らを向上させるため問題解決に努力させる
- 学際的な視野で物事を捉えさせ、国際的な視野で的確な判断ができるような意識をもたせる
- 我が国のあり方、歴史観や文化に対する認識等を浸透させる

## 第20回 ベストティーチャー表彰(2024年度)

- 中部部タイプA** 小松原 洋行 先生(英語)
- 高等学校タイプA** 新井 達也 先生(音楽)  
八巻 嶺 先生(英語)
- 中・高タイプB** 田中 亨 先生(英語)

5月17日に実施された第53回後援会定期総会において、昨年度のベストティーチャー4名に対して松本次郎会長より感謝状と賞金が授与されました。

ベストティーチャー制度は2004年度に教員のスキルアップを図ることを目的として創設されたもので、毎年度(2020年度を除く)後援会によるご協力のもと運営されています。前期に2回(5月・9月)実施される「生徒による授業評価アンケート」の結果(平均値)が高かった中部部3名、高等学校6名の教員の授業を全教員・保護者が見学し、総合評価が最も高かった中部部1名、高等学校2名の教員を「タイプA」、第1回から第3回(11月)までの「生徒による授業評価アンケート」においてそのスコアの伸び率が最も高かった教員1名を「タイプB」として表彰します。なお、ベストティーチャー(タイプA)に選ばれると、翌年度から3年間はその選考対象から外れます。



# 第53回後援会・第22回部活動後援会 定期総会開催

## 2025年度 後援会役員・委員および部活動後援会役員が決定

第53回後援会・第22回部活動後援会定期総会が開催され、前年度の事業・決算・監査報告、今年度の事業案・予算案等の議案が承認されました。

また、会則に基づき、今年度の各会役員および後援会委員の委嘱が行われましたのでご紹介いたします。

### ◎2025年度 後援会役員◎

- 会 長 松本 次郎
- 副会長 渡邊 栄一  
深見 梓  
山本 延忠  
篠原由加里
- 監 事 平林 裕子  
新宮 恵



### ◎2025年度 部活動後援会役員◎

- 会 長 竹中 輝夫
- 副会長 後田裕美子
- 監 査 河原 愛  
若林久美子
- 幹 事 笹山 公美  
節政 博美  
丸山 格
- 顧 問 森 八一  
内村 宏幸

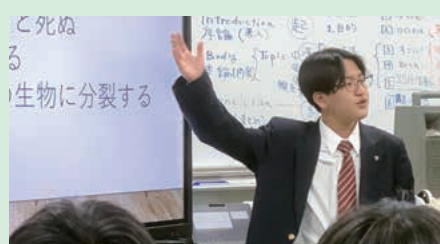


### ◎2025年度 後援会委員◎

| 組       |    | 1 年   | 2 年    | 3 年   |
|---------|----|-------|--------|-------|
| 中 等 部   | A  | 伊藤 麻希 | 斎藤 法子  | 井上麻里絵 |
|         |    | 金長 暢之 | 佐藤 彩   | 高杉 佳子 |
|         |    | 根岸貴美香 | 竹口香緒里  | 増永 寛文 |
|         | B  | 石井 大輔 | 田谷 美輪  | 小安 理央 |
|         |    | 斎藤 和紀 | 日比谷まき  | 佐々木佳代 |
|         |    | 桜井 弘紀 | 船水 美咲  | 堀口 友香 |
| 高 等 学 校 | 1  | 石原 洋子 | 漆原 恵美  | 大塚 英恵 |
|         |    | 富松 和美 | 奥井みつよ  | 大野 智子 |
|         |    | 吉田 綾子 | 柴田 亜矢  | 松本真希子 |
|         | 2  | 大図 美香 | 相澤 朋子  | 白土貴美子 |
|         |    | 平塚 綾子 | 秋庭 亮子  | 福岡 友見 |
|         |    | 渡邊 千乃 | 岩尾 恒治  | 森山さゆり |
|         | 3  | 神前 理恵 | 小河原恵美子 | 荻田 康代 |
|         |    | 城 亜衣  | 高畑 智子  | 照屋 紀子 |
|         |    | 竹内 友香 | 橋本 有実  | 深見 梓  |
|         | 4  | 安藤 匡士 | 石神 潤子  | 新井 聡子 |
|         |    | 塚田 直香 | 新宮 恵   | 原川 由紀 |
|         |    | 野村 桜  | 西脇 真紀  | 山本 延忠 |
|         | 5  | 田中 求  | 鍋木真奈美  | 大場 信子 |
|         |    | 中込 友美 | 栗田 優子  | 篠原由加里 |
|         |    | 廣瀬 彩子 | 玉屋 千景  | 鈴木 ゆう |
|         | 6  | 田中 陽子 | 齋藤 裕子  | 大村 志乃 |
|         |    | 松崎真友美 | 平井亜紀子  | 小森田 忍 |
|         |    | 宮崎 由紀 | 宮林みゆき  | 榊原 巳穂 |
|         | 7  | 石井 薦  | 石井 幸恵  | 大宮 綾  |
|         |    | 齋藤奈津子 | 田口 薫里  | 佐藤みのり |
|         |    | 里見 優子 | 増田 妙佳  | 西村 智子 |
|         | 8  | 栗栖 有理 | 奥野友紀子  | 石村 泰子 |
|         |    | 竹内 晴子 | 小栗 美和  | 金子 歩美 |
|         |    | 韭澤 加奈 | 菊田まどか  | 伴 香織  |
|         | 9  | 石橋亜希子 | 家田 希美  | 大高 邦彦 |
|         |    | 久米井 彩 | 岩田 崇江  | 小野 郁子 |
|         |    | 福澤 由香 | 芹澤 郁   | 西村 瑞香 |
|         | 10 | 佐藤 明信 | 橋本 恵   | 大久保 誠 |
|         |    | 矢島 紘代 | 水城 育子  | 深川 由子 |
|         |    | 吉永まゆみ | 横山ひろみ  | 藤岡 博子 |

## SSH活動報告

4月12日に中部大学の井上徳之先生による科学プレゼンテーション講座が1年生を対象に行われました。4月19日には日本科学未来館でプレゼンテーション作成に向けた実習を行い、1年生とTAとして3年生が6名参加しました。生徒の感想文を掲載します。



プレゼンテーションの様子

## 科学プレゼンの講座を終えて

1年10組 吉永 謙

今までプレゼンをすることがあっても、細かなテクニックを教わったことはなかったのですが、今回学んだことを自分の発表に存分に活かして、失敗しながらもいいプレゼンテーションをできるように頑張りたいと思いました。自分の発表を聞いてもらうことは緊張しましたが、しっかり聞いて褒めてもらえたことが特に印象に残りました。4つのテクニックや型は忘れないように、自分でまとめたノートを見返して思い出したいと思います。人のプレゼンを聞いたり、褒めたりすることで、自分の改善点やより良くする方法を思いついたり、考えたりできたので、また友達と共有したいと思いました。

## 日本科学未来館での活動

1年10組 ナヒヤーン アル シェッヒ

今回の活動で、僕は世の中にはいろいろなことをして研究が進んでいるとわかりました。例えば、地震が起きた原因を探るために深い海底を掘って、そこでのプレートの動きがどのようにしているのかわかるたくさんの証拠を見つけていました。自分の興味のあることをテーマにすることができ、前回の授業で学んだことを生かして、プレゼンテーションでの発表の力も伸びたと感じました。とても嬉しいです。もう少し文章をまとめることが上手にできたら、さらにうまくなれると思います。



海底探索を学ぶ



TAからのお話

## TAを終えて

3年10組 深川 晃暉

今回はTA(ティーチングアシスタント)として日本科学未来館に行きました。当日はリーダーとして全体を仕切りましたが、1年生に指示を出す難しさを感じました。時には他の3年生に助けをもらい、無事に終えることができました。そして1年生の発表を聞いている際に私自身も初心に戻る事ができ、気付きがありました。それは考えながらしゃべることです。発表になるとどうしても原稿を覚えて説明をしてしまいます。そうではなく、内容を考えながらしゃべることによって、相手に一層分かりやすく伝えることができるのではないかと考えました。これからのSSH活動に活かして、面白い発表ができるよう頑張っていきます。

## 部・同好会活動報告

## ダンス部

## LINK SHOWCASE ～youth DANCE STAGE 2025

会場:高輪ゲートウェイシティ THE LINKPILLAR 1 SOUTH LINKPILLAR Hall A・B

主催:JR東日本・東日本旅客鉄道株式会社

## ダンス交流を通して

3年2組 秋間 柚季江

私たち中高ダンス部は、4/13(日)にTAKANAWA GATEWAY CITYのLINKPILLAR Hallで行われたLINK SHOWCASE～youth DANCE STAGE 2025へ参加させていただきました。そこでは豪華な審査員の方々から貴重な講評をしていただき、なかなか味わえない経験をし、成長につながる素敵な機会をいただくことができて嬉しかったです。その中で、私はベストダンサー賞というチームの中で1人だけに与えられる賞をいただくことができました。このような栄えある賞をいただけたのは、日々近くで応援してくださる皆様のおかげです。今後も成長した姿をお見せできるよう頑張っていきます。

その他にも、ディスコタイムという他の学校とダンス交流をする時間があり、地域のダンスを愛する仲間にも出会えることができて楽しかったです。最後には、私たち3年生は特別賞をいただき、自分たちの作品を評価していただけて自信につながる事ができました。このような素敵なイベントを企画して下さった関係者の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。次はダンスドリル関東大会で予選1位通過を目指して、日々支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れずに、チーム一丸となって全力を尽くします。今後も応援をよろしくお願いします。



プロダンサーのNORIさんから特別賞をいただきました



演者も観客もみんなでダンス!

## 学年だより 中1

## 学年目標・学級目標

少しずつ学校生活に慣れてきました。中部部1年生の学年目標とそれぞれの学級目標が決まりましたので、お知らせいたします。

## 学年目標

## 「絆」

学年委員長 B組 北澤 吉之

この学年目標には、「思いやり、助け合い、協力し合う、これらができる学年にしていこう」という思いが込められています。さまざまな行事や日常生活において集団行動の大切さや協調性を学び、一致団結して支え合うことにより信頼性を築き、喜怒哀楽を共有して人とのつながりを作る、すなわち絆が生まれることを目指して、この3年間を過ごしていきましょう。

## A組学級目標

## 「メリハリ」

A組級長 保高 悠馬

私たちは、授業はまじめに、休み時間は楽しく、部活動は真剣にという目標を大切にしていきたいです。なぜなら、「メリハリ」をしっかりつけていかないと、誰もいい気持ちにならないからです。先生に怒られて、空気が悪くなってしまうたり、真剣にやっている人が、迷惑だと思ってしまうと、クラスの雰囲気まで悪くなってしまうので、この目標を大切にしていきたいです。

## B組学級目標

## 「One for all All for one」

B組副級長 江郷 凜乃

この学級目標は、一人はみんなのために、みんなは一人のためにという意味です。1年B組は、そのようなクラスを目指すための連携や、みんなが一致団結し合い、支え合うクラスにしたいという意味があり、この目標にしました。一人が困っているのを見つけたら、必ずみんなで支えていこう。困ったときがあったら、一人で抱え込まずに必ず誰かに相談すると決めました。このような思いが詰まっている学級目標を1年間みんなで目指していきたいと思います。



副級長:大隅 萩介

級長:保高 悠馬

副級長:椿 賢亮



副級長:江郷 凜乃

級長:北澤 吉之

副級長:中村 亜輝

OK

## 学年だより 中2

Let's

GOAL

## 学年目標・学級目標

新しいクラスになって2カ月が経とうとしています。中等部2年生の学年目標とそれぞれの学級目標が決まりましたので、お知らせいたします。



## 学年目標

## 「姿勢」

学年委員長 B組 湯川 翔太

私たちの学年目標は「姿勢」です。この姿勢という目標には2つの意味が込められています。1つ目に、後輩に見せる姿勢です。昨年、私たちは先輩方の姿勢を見て成長しました。今年度は私たちが後輩に先輩としての姿勢を見せる番だと思いました。2つ目に、メリハリを持つことが大切だと思ったからです。やるときはやる、楽しむときは楽しむ、メリハリのある姿勢を大切にして、この1年間頑張っていきたいです。

## A組学級目標

## 「メリハリがあって後輩の見本になるクラス」

A組級長 荒金 煌輝

後輩たちに尊敬され見本になる先輩になるため、やることをしっかりやり、分からないことがあったら教えるなど、後輩たちを引っ張っていく先輩になるためにこの学級目標にしました。学校生活で何事にも全力な姿勢を見せ、「こんなカッコいい先輩になりたい」と思ってもらえるような先輩になりたいです。また、自分たちのことを自慢したくなるような頼もしい存在になり、勉強面でも、部活動の面でも、人としても成長していきたいです。



## B組学級目標

## 「THE BEST TIME」

B組副級長 深見 唯

2年B組の学級目標は、「THE BEST TIME」です。44人全員が最高の時間を過ごすようにという意味が込められています。一人ひとりが今年度最高の時間を送るために、必要だと思うことを出し合いながらこの目標を決めました。クラス全員で目標を達成するためには、行事や普段の生活の中で、助け合って、声を掛け合うことが大切だと思います。2年B組で過ごす毎日をクラス全員で協力して、大切にしていきたいです。



副級長:田畑 天流

級長:荒金 煌輝

副級長:新井 希実



副級長:深見 唯

級長:湯川 翔太

副級長:田口 瞳

## 学年だより 中3

## 学年目標・学級目標

中等部で過ごす最後の1年となりました。中等部3年生の学年目標とそれぞれの学級目標が決まりましたので、お知らせいたします。



## 学年目標

## 「花」

学年委員長 A組 金城 郁大

中等部3年生の学年目標は「花」になりました。この目標は2年生の時の学年目標の「蕾」から、それぞれの力で「花」を咲かせようという意味が込められています。3年生は最後の年で、部活動、行事、学校生活など中等部生としてすべてが最後になります。最後だからこそ、3年生全員が、「蕾」から「花」へ咲かせられるよう、一日一日を大事に頑張っていきたいです。そして、この「花」を高校で大きな「花」にしていきたいです。

## A組学級目標

## 「蓋世不拔」

A組副級長 阿部 正太

私たち3年A組の学級目標は「蓋世不拔(がいせいふばつ)」になりました。この意味は性格や才能などが他と比べ、非常に優れているという意味を持っています。私たちA組は、学校行事や学習面でも他のクラスに負けることなく学校生活を過ごし、人格的にも大きく成長したいという思いを込めて、この学級目標を掲げました。最上学年としての自覚を持ち、クラスで団結してこの一年間を過ごしていきたいです。



副級長:後藤 奏音 級長:金城 郁大 副級長:阿部 正太

## B組学級目標

## 「何事にも全力で勝利を目指すクラス」

B組級長 佐藤 朱莉

これが私たち3年B組の学級目標です。体育祭や合唱祭のように勝負をする行事はたくさんあります。最後の中等部生活での行事はすべて全力で挑み、勝利をつかみ取りたいというB組の熱い思いがあります。その思いを言葉に表し3年B組の学級目標にしました。この一年の行事などの勝負だけでなく、すべてのことに全力で挑む、3年B組でありたいです。



副級長:坂本 煌将

級長:佐藤 朱莉

副級長:堀口 蒼太

# 第24回 高校体育祭開催

5月1日に高校の体育祭が行われました。昨年度までは秋に実施されていた行事でしたが、今年度は風薫る季節、暑さに負けない生徒たちの熱気あふれる競技と、協力の精神が光った素晴らしい行事となりました。楽しみながらも一生懸命な生徒たちの様子をご覧ください。

1・2・3年



2年



学年別リレー

台風の日

2年



3年

1年



大玉運び

1年



2年



部・同好会対抗リレー



2年



1年



1・2・3年

2年



玉入れ



3年



3人4脚



綱取り合戦

3年



1年



色別対抗リレー

★写真協力：写真部

1年

安孫子 由佳さん  
相模 友梨香さん  
山田 歩佳さん

2年

新 紗英奈さん  
遠藤 結佳さん

3年

小河原 芽生さん  
宋 吹京さん  
森 萌穂美さん

## お知らせ（建学祭関連）

## 第61回建学祭 テーマ ～異 彩～

10月11日(土)・12日(日)

昨年度末に在校生に向けて建学祭のテーマを発表しましたが、再度新入生に向けてご紹介します。「異彩」には2つの意味があります。1つ目は普通とは違う彩り、2つ目は際立って優れた様子という意味です。各出展団体で特色のある充実した出展や公演を作り上げ、来場者が体験できる、または学ぶことのできる建学祭を作っていきましょう。

## ◆ ◆ 〈スローガン募集〉 ◆ ◆

本校ではテーマとともにスローガンも募集しています。「異彩」に則したスローガン候補が多く寄せられることを、楽しみにしています。

| 年度   | テーマ                  | スローガン      |
|------|----------------------|------------|
| 2024 | Harmony              | 響力(きょうりょく) |
| 2023 | Modern × Traditional | 伝(でん)      |

行事  
予定

※予定が変更になる場合があります。

June 6 月

July 7 月

- 1日(日) 学校説明見学会①  
 2日(月) 朝礼・短縮授業  
 6日(金) 生徒総会(7時限)  
 7日(土) 芸術鑑賞(歌舞伎:中3)  
 9日(月) 学年集会②(中2、高2) 高1HR茶道(4組、5組)  
 10日(火) 校医相談日③  
 11日(水) 専門医によるカウンセリング②  
 13日(金) 漢字検定①  
 14日(土) 水泳実習①(中等部)  
 GTEC受検日①(高校)  
 19日(木) 研修旅行(高2:沖縄、北海道、ハワイ、カナダ～24日)  
 4時限授業(特別時間割:中等部、高1)  
 三者面談開始(中等部)  
 スポーツ大会(さいたま総合グラウンドorアリーナ:高3)  
 20日(金) 4時限授業(特別時間割:中等部、高1・3)  
 21日(土) 4時限授業(特別時間割:中等部、高1・3)  
 23日(月) 4時限授業(特別時間割:中等部、高3)  
 スポーツ大会(さいたま総合グラウンドorアリーナ:高1)  
 24日(火) 4時限授業(特別時間割:中等部、高1・3)  
 25日(水) 生徒自宅学習日  
 26日(木) 6時限特別授業(中等部、高1・3)  
 生徒振替休日(高2)  
 27日(金) 水曜の授業日

- 1日(火) 塾教員対象説明会(中等部)  
 2日(水) 朝礼・短縮授業  
 6日(日) 学校説明見学会①(高校)  
 7日(月) 高1HR茶道(6組、7組)  
 8日(火) 校医相談日④  
 9日(水) 専門医によるカウンセリング  
 12日(土) 後援会学年懇談会  
 13日(日) 学校説明見学会②(中等部)  
 14日(月) 合唱祭(中等部) 高1HR茶道(7組、8組)  
 19日(土) 2時限まで授業 夏季休暇前諸注意(3限)  
 大掃除・HR・生徒による授業評価アンケート②(4限)  
 21日(月) 海の日



カナダ



北海道

2024年度研修旅行

編集  
後記

「暦の上では夏」という表現はそろそろ通じなくなりそうです。このフレーズは相手と「まだ晩春のような陽気だけど……」という意識が共有されていないと成立しないのですが、立夏(毎年5月6日前後)のころには最高気温が25度を超える夏日になることも近年では珍しくありません。それでも「風薫る」という季語は5月の清々しい景をよく表していると思います。きょうから6月、薫風の吹かない憂鬱な日々が続きます。梅雨が長すぎても短すぎても稲の生育に悪影響を及ぼすそうですので、どうか「平年通り」であることを切に願っています。(の)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <https://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>